

「デザイン技術」シラバス

沖縄県立那覇工業高等学校

教科名	対象学科	学年	科目名	単位数	学期	必修・選択
工業	グラフィックアーツ科	3	デザイン技術	2	全	選択
使用教科書			補助教材			

1 科目の目標

- ①各自で設定したテーマを基に作品制作を行い、興味関心を高める。
- ②1、2年生で学習した基礎的な操作技術から更に応用し、知識を広めたり技術の向上を目指す。
- ③作品制作に伴い、コンセプトなどのプレゼンテーション能力を高め、発表力、表現力、見せ方の工夫などを身に付ける。

2 学習の方法

- ①選択科目でグラフィックアーツ科にあるパソコンをベースに授業を展開する。
- ②1、2年の実習などで学習したソフトオペレーション技術のスキルアップを目標とする。
- ③学期ごとにテーマを定め作品を提出させ、技術向上と完成度の高い作品を制作する。
- ④プレゼンテーションを意識して作品に取り組み、発表や表現能力を高める。

3 評価の方法

- 次の四つの観点に基づいて学期毎に評価し、1、2学期は素点化します。三学期は年間を通して総合的に判断して五段階評定をします。

評価の観点	内 容	評価方法
①関心・意欲・態度	日ごろの授業をどう捉えているか、意欲的であるか。また勤怠状況や進行状況などを考慮する。	授業態度、勤怠状況、進行状況などにより評価をする。
②思考・判断	1、2年で学習した基本テクニックが身についているか。ショートカットなどの応用技術が向上しているか。	基本テクニックや、応用技術により判断する。
③技能・表現	作品に取り組む発想やデザイン力、またプレゼンテーション能力が身についているか。	企画・計画に始まり最終のプレゼンに至るまで評価する。
④知識・理解	作品やレポートのまとめ、またDTP技術など総合的に理解、そして知識が身についているか。	作品や課題の提出により判断する。

4 その他

- ①学期ごとに課題を自ら設定し、限られた時間内に作品を仕上げる。
- ②グラフィックアーツ科にあるパソコンを使用するため、受講する人数（台数）に制限がある。

5 学習計画

学期	週数	時数	単元名	学習の内容	学習のねらい	学習活動 (評価方法)
1 学 期	26	1	イメージクリエイティブとは	<ul style="list-style-type: none"> ・導入 ・自己を表現する ・授業内容（作品について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味、関心を身につけ、企画や計画を行う。 ・基本技術の確認させる。 ・編集、効率などのテクニックを習得する。 ・中間、期末考査にて実技試験を行い技術の向上に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・企画計画 ・基本技術 ・操作と効率 ・実技 中間考査 期末考査 ・作品 自己表現の以上で評価する。
		2	基礎基本技術	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を元に1、2年で学習した基礎基本技術に取り組む。 		
		3	DTP 関連ソフトの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・フォント、レイアウトなど ・操作と技術、効率 		
		18	実技課題 (中間考査) (作品制作) (期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・実技課題へ取り組む 1学期中間考査 作品の完成 1学期期末考査 		
2 学 期	30	2	企画、計画	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の反省・2学期の挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・前作品を見直し更にテクニックの向上と応用力を身につける。 ・画像処理やソフト互換の技術を習得し、作品制作に取り組む。 ・中間、期末考査にて実技試験を行い技術の向上に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・企画計画 ・基本技術 ・操作と効率 ・実技 中間考査 期末考査 ・作品 自己表現の以上で評価する。
		4	DTP 関連ソフトの応用	<ul style="list-style-type: none"> ・応用技術、ソフト互換（画像処理、複数のソフトの互換を生かした処理など） ・作品制作（その2） 生徒自らテーマを設定し作品に取り組む。 		
		22	実技課題 (中間考査) (作品制作) (期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・実技課題へ取り組む 2学期中間考査 作品の完成 2学期期末考査 		
		2	プレゼン			
3 学 期	14	10	1年間の作品制作工程の反省とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・成果をレポートで提出する。（習得した技術能力について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに習得した知識や技術を考え、卒業後に活用する。 ・卒業考査を通して技術の定着を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・企画計画 ・基本技術 ・操作と効率 ・実技 卒業考査 ・作品 自己表現の以上で評価する。
		4	実技課題 (卒業考査)	<ul style="list-style-type: none"> ・実技課題へ取り組む 卒業考査 		
合計		70				